

平成 28 年度第 6 回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：平成 29 年 1 月 27 日(金)

時間：18 時 30 分～21 時 00 分

会場：品川区総合体育館 地下 1 階会議室

出席者：一川邦彦(副会長)、久我晃広(理事長)、寺本祐治(副理事長)、関谷淳一、釋洋一(以上監事 2 名)、宮澤哲郎(事務局長)、成田健一、ジョン・シアン、下平歩実、萬納宏俊(以上常任理事 4 名)、渡邊陸(学連委員長)、奥原健登(学連副委員長)、三浦隆輔(競技委員長)、神武真太郎(普及委員長)、石井雄(審判委員長)、片伊勢有沙(表彰委員長)、加藤大和(広報委員長)、田中真名美(書記)、金田翼、長澤凌介、北村和紀、野路学、天明沙季、中山邦仁、下温湯瑞貴、古跡萌絵、竹内佑太、出口晴(以上学連委員 10 名)

以上 28 名

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開催を宣言。

【総会関連／審議事項】

1.平成 28 年度事業実施報告

渡邊学連委員長より、平成 28 年度事業実施報告を行った。

2.平成 29 年度事業実施計画(案)

金田学連委員より、平成 29 年度事業実施計画(案)についての報告を行った。一川副会長より、秋季関東学生リーグ会場として駒沢オリンピック公園運動場を利用する可能性がある旨が報告を行った(抽選になるが申込済)。

3.平成 28 年度決算報告

皆川財務委員長欠席につき、萬納常任理事より平成 28 年度収支決算の報告を行った。

4.平成 29 年度予算案

下温湯学連委員より、平成 29 年度予算案の報告を行った。

5.平成 29 年度専門委員会構成員(案)

金田学連委員より、平成 29 年度関東学生ホッケー連盟専門委員会構成員(案)について報告を行った。

6.平成 29 年度春季関東学生ホッケーリーグ実施要項(案)

長澤学連委員より、平成 29 年度春季関東学生ホッケーリーグ実施計画が報告を行った。また、法政大学多摩グラウンドは（法政大学から）会場として利用できないことが報告された。

7.平成 29 年度春季関東学生ホッケーリーグ競技役員の委嘱

長澤学連委員より、平成 29 年度春季関東学生ホッケーリーグ競技役員の委嘱について議題が出された。久我理事長より、競技役員の選出は資格を有する社会人をリストアップし、別途決定することとなった。

8.平成 29 年度競技委員会運営計画(案)

長澤学連委員より、平成 29 年度競技委員会運営計画(案)について報告を行った。現状の問題点として「競技日程の確定後にグラウンドが使用不可となり日程変更を余儀なくされた」「試合に必要な備品の不備が散見された」が挙げられた。同状況を改善するために、各グラウンドの管理大学が競技委員会に参加する必要があるとの意見があり、同意見は承認された（学連委員間での仕事量の不均衡是正にも繋がる）。

9.所属ジャッジの設置及び公認ジャッジ講習会の開催

長澤学連委員より、所属ジャッジ制度の導入及び公認ジャッジ講習会の開催計画(案)について報告を行った。久我理事長および成田常任理事より、所属ジャッジ制度について補足があり、講習会の方法、認定する機関、対象者について議論された。

10.平成 29 年度所属審判講習会実施計画

野路学連委員より、平成 29 年度所属審判講習会実施計画について報告を行った。なお門戸を広く開放するという趣旨から、D 級審判員の条件の一つである「ホッケー歴 1 年以上」という規定をなくすこととした。

11.表彰委員会審議事項

天明学連委員より、トロフィー破損の修繕費を予算に組み込むべきか議題が出され、予算を 5 万円に設定することが決定した。また、シアン常任理事より、優秀選手選出方法の見直しが提案された。TO とジャッジで 1 試合ごとに優秀選手を選出し、リーグ終了後に決定をする案が出された。

12.平成 29 年度新歓事業実施計画及びホッケークリニックに関して

北村学連委員より、平成 29 年度新歓事業実施計画及びホッケークリニックについて報告を行った。また、ホッケークリニックの運営を関東学生ホッケー連盟普及委員会から THA に移行したいとの要望があり（参加希望が THA 所属の大学・高校が太対象

となるため)、一川副会長より THA で受けることはできるが、普及委員会との協力が必要であるとの意見があった。

13.その他

(1) 片伊勢副委員長より、昨年の東西交流戦の監督・コーチ依頼の際に、関東学生連盟として正式な文章での依頼が必要ではとの指摘が(依頼した監督・コーチより)あったが、社会人理事の担当が不明確で対応に苦慮したとの報告有り。一川副会長より、今後予定している来年度の王座決定戦準備委員会で社会人担当理事を決めることとし、同様の事態が発生しないよう対処することとした。

(2) 金田学連委員より、群馬大学より部員が少なく春季リーグは参加困難との連絡があったとの報告があった。秋季リーグについては参加したいとの意向との事であり、群馬大学と連絡を取って今後の対応を図ることとした、また専修大学女子についても春季リーグ不参加の旨が報告された。

【報告／連絡事項】

14.平成 28 年・29 年度引き継ぎ会議実施報告

より、平成 28 年・29 年度引き継ぎ会議実施報告を行った。

15.競技委員会運営状況報告

三浦競技委員長より、競技委員会運営状況報告を行った。

16.普及委員会運営状況報告

神武普及委員長より、普及委員会運営状況報告を行った。

17.平成 29 年度普及委員会実施計画

下平常任理事より、平成 29 年度普及委員会の実施施策について説明があった。今後、広報と連動して、外向きの運営を行っていく方針。

18. 日本学生ホッケー連盟関連事項

久我理事長より、日本学生ホッケー連盟関連事項の報告を行った。

日学連との間における補助金等の未精算部分の確認、選手登録規約変更の方向性(1 チームにつき 4 回までの登録)、アメリカ遠征の募集等の説明があった。なお、アメリカ遠征については希望者を予め把握する必要があり、渡邊委員長に各大学に調査するよう指示があった。

19.日本ホッケー協会関連事項

寺本副理事長より、日本ホッケー協会関連事項の報告を行った。

男女日本代表の外国人ヘッドコーチ招聘を行っていること、全日本選手権は社会人チーム4つと学生チーム4つでトーナメント方式をとること、および選手登録がネット上で可能になる等の説明があった。

20.東京ホッケー協会関連事項

一川副会長より、東京ホッケー協会関連事項が報告を行った。

駒沢ホッケー場での日本リーグの開催が報告され、ホッケーの普及に力を入れていく必要性について説明があった。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 渡邊陸